

不登校に関する 調査研究協力者会議

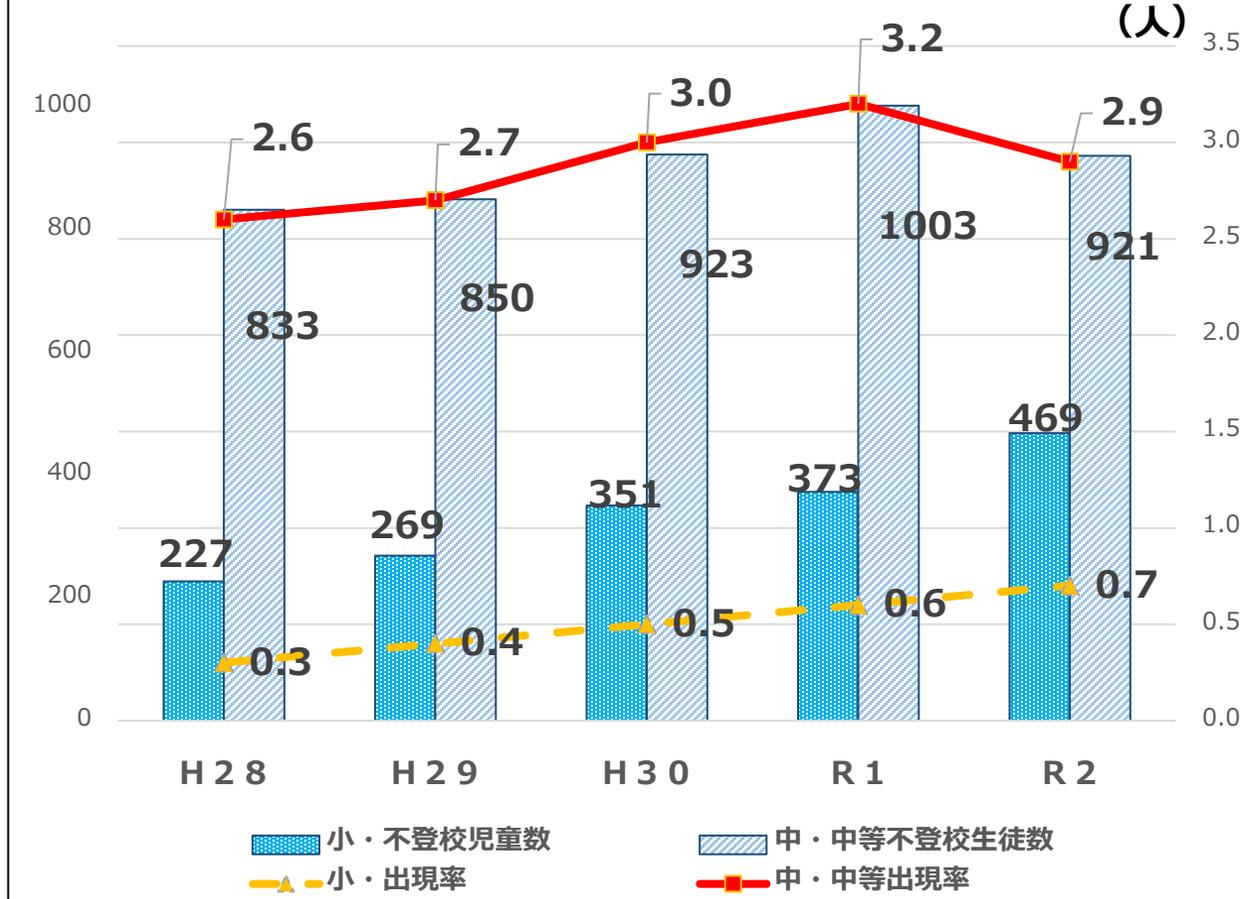
令和4年2月17日
さいたま市教育委員会
総合教育相談室

目次

- ・さいたま市の不登校児童生徒の現状
- ・さいたま市における不登校児童生徒への支援の取組の現状
- ・経済産業省学びと社会の連携促進事業「未来の教室」（学びの場）創出事業「Ojacプロジェクト」への参加に関する成果と課題
- ・さいたま市における不登校等児童生徒への支援の充実にむけて

さいたま市の不登校児童生徒の現状

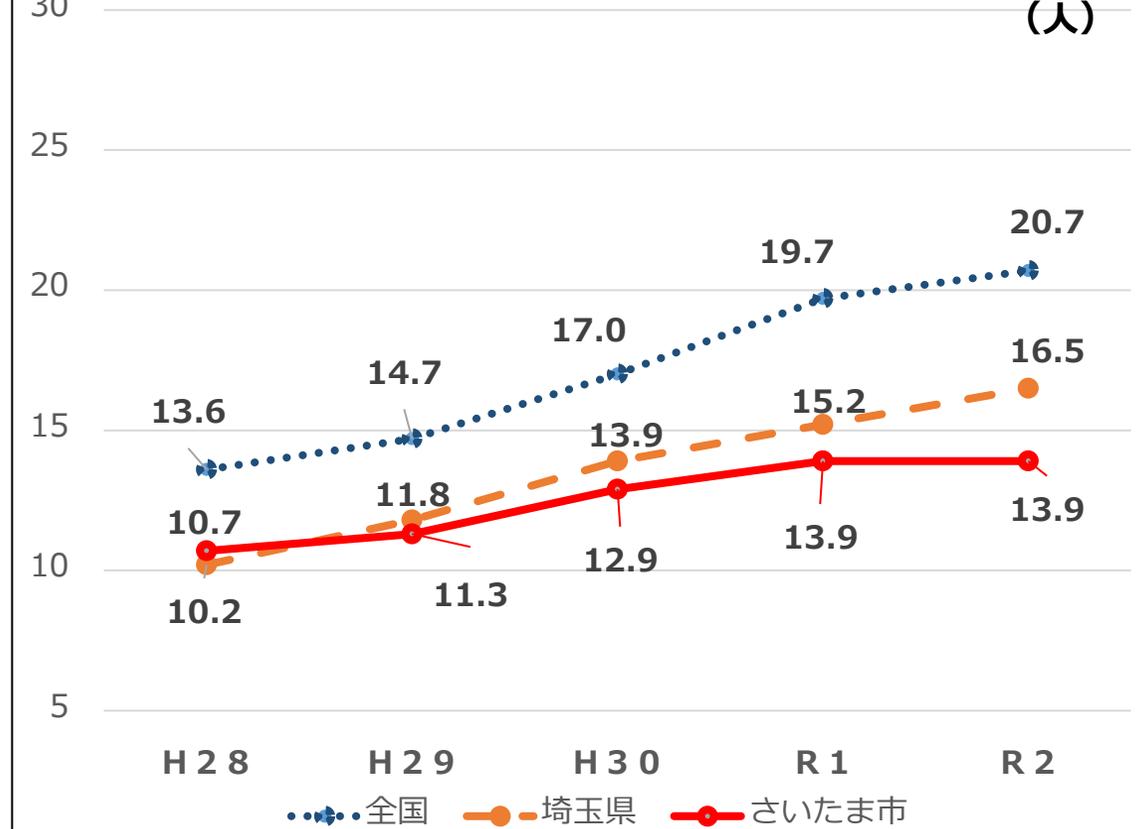
さいたま市の不登校児童生徒数及び出現率の推移



- ・ 小学校の不登校児童生徒数は増加傾向
- ・ 出現率 = 不登校児童生徒数 ÷ 在籍数 × 100

1000人当たりの不登校児童生徒数

(全国・埼玉県・さいたま市の比較)



- ・ 1000人当たりの不登校児童生徒数は、全国、埼玉県と比較すると低い

さいたま市の不登校児童生徒への支援の取組

不登校児童生徒への支援の在り方について（通知） 令和元年10月25日	さいたま市教育委員会において 現在実施している不登校児童生徒への支援
教員の資質向上 研修などの体系化、プログラムの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・【初任者】初任者研修会 ・【2年次】ゲートキーパー研修会 ・【3年次】カウンセリング基礎研修会 ・【推薦研修】学校カウンセリング応用研修会 ・生徒指導、教育相談研修会 ・心のサポート手引きの発行
教育相談室・教育支援センターの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職の配置、さわやか相談室の充実、専門職への研修会 ・SCSVの派遣やケース会議の参加 ・24時間子どもSOS窓口、SNSを活用した相談窓口 ・体験学習（博物館訪問、農業体験等） ・ソーシャルスキルトレーニング等 ・家庭科、理科、体育等の実習 ・個別学習、タブレットを活用した学習支援
教育支援センターを中心としたネットワークの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て学習会の開催 ・関係機関連携（ケース会議の開催、相談支援の連携）
民間施設との情報交換や連携	<ul style="list-style-type: none"> ・フリースクール等連絡協議会の実施
訪問型支援等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各教育相談室での、不登校の相談訪問ケース 56件 ・現在は、来所相談、電話相談が中心

経済産業省学びと社会の連携促進事業 「未来の教室」(学びの場)創出事業「Ojacプロジェクト」

1 学習への参加状況

※ 全国17自治体

	応募人数	学習を始めた人数	参加率
全国	209人	177人	85%
さいたま市	53人	45人	85%

「Ojacプロジェクト」の内容

- ・「デキタス」というICT教材を活用した授業
- ・学習習慣をサポートするチャット担任
- ・オンライン社会科見学などのオンライン体験活動
- ・楽しさを共有するチャット部活



経済産業省学びと社会の連携促進事業 「未来の教室」(学びの場)創出事業「Ojacプロジェクト」

2 さいたま市でOjacに参加し学習を始めた児童生徒のうち、各学校において指導要録上の出席扱いとした、また学習評価に反映した人数

学習を始めた人数	指導要録上の出席扱いとした人数	学習評価に反映した人数
45人	37人	12人

3 Ojacでの学習の取組を学習評価にどのように反映したか

- ・取組を「主体的に学習に取り組む態度」として評価した。
- ・動画を視聴しながら作ったノートから、取組を評価した。 等

経済産業省学びと社会の連携促進事業 「未来の教室」(学びの場)創出事業「Ojacプロジェクト」

4 チャット部活、オンライン体験活動等への参加状況について

	チャット部活	体験活動
全国	1 ~ 31人	18 ~ 25人
さいたま市 ()内は応募人数に対する参加率	19人 (35.8%)	15人 (28.3%)

5 担任とのチャットでのやり取りについて

	応募人数	週1回以上返信あり/既読	参加率
全国	209人	132人	63%
さいたま市	53人	19.6人	36.9%

経済産業省学びと社会の連携促進事業 「未来の教室」（学びの場）創出事業「Ojacプロジェクト」

6 各学校において指導要録上の出席扱いとしなかった、また学習評価に反映しなかった（できなかつた）主な理由

【指導要録上の出席扱いとしなかった（できなかつた）理由】

- ・ログインの記録がなかつた
- ・「デキタス」へのログインだけで、学習実績がなかつた

等

【学習評価に反映しなかった（できなかつた）理由】

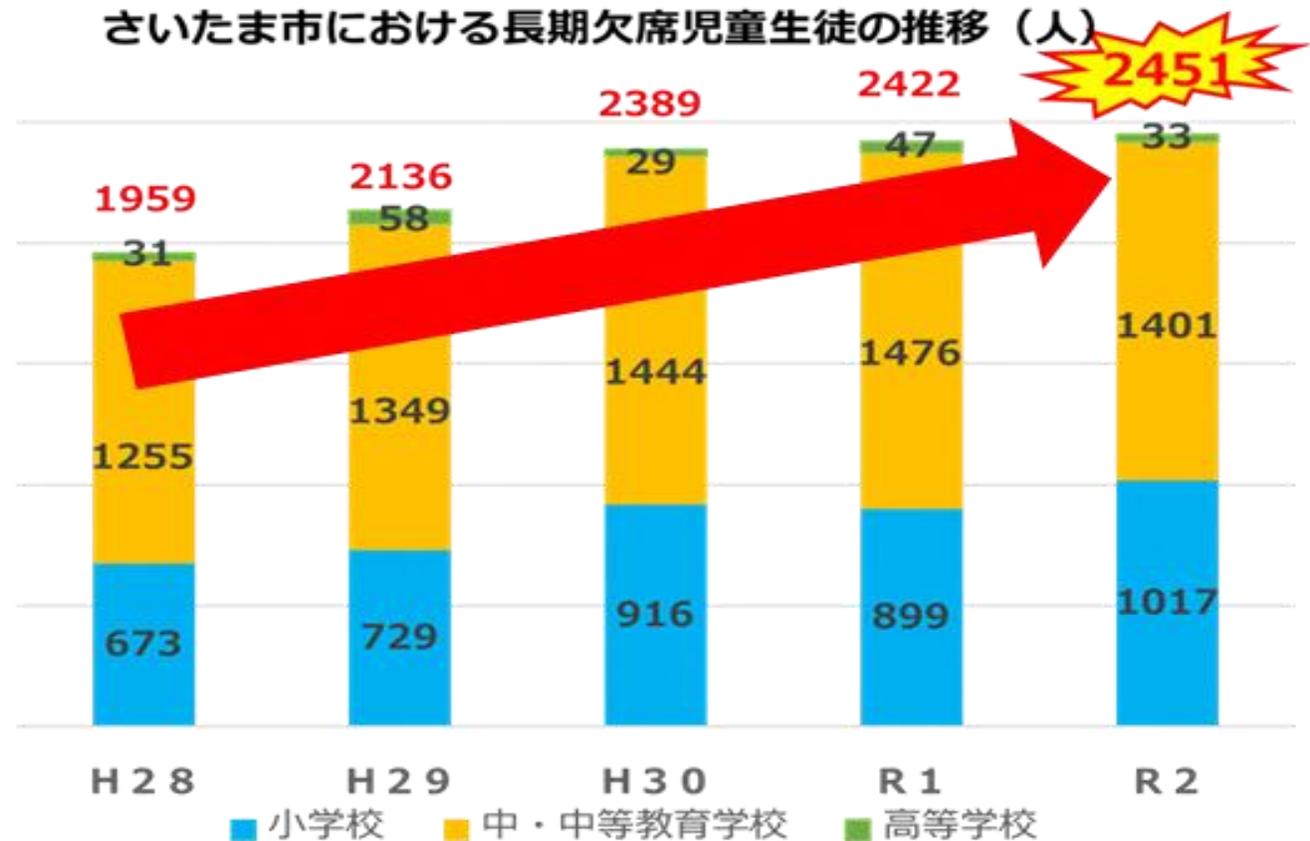
- ・当該学年の学習履歴がなかつた
- ・当該学年の学習履歴はあったが、問題への取組がなかつた
- ・学習履歴は確認できたが、定期テスト等への取組がなかつた
- ・各教科で実施している授業内容とは異なるため

等

令和4年度から

「不登校等児童生徒支援センター (通称Growth)」の設置

さいたま市に
おける
不登校等児童
生徒への支援
の充実に
むけて



令和4年度から

「不登校等児童生徒支援センター (通称：Growth)」の設置

1 設置の目的

「不登校等児童生徒支援センター（通称：Growth）」では、不登校や病気等で長期欠席している児童生徒に寄り添って、オンライン授業を含めたICTを活用した学習支援や訪問相談等を実施し、児童生徒の社会的自立を目指す。

さいたま市に
おける
不登校等児童
生徒への支援
の充実に
むけて



2. 「不登校等児童生徒支援センター (通称：Growth)」の概要

(1) ICTを活用した学習支援の実施

一人一台端末を活用して、小中学校別のオンライン授業や体験活動を配信する。また、オンライン健康体操等の実施を検討。

オンライン学習支援等

国語、算数・数学等の授業を、配信します。



ZOOMで個別学習を支援します。

体験学習等の配信を行います。



生活リズムを整え、運動の楽しさ喜びを伝えます。



人とのつながり！学ぶ楽しさ！

さいたま市に
おける
不登校等児童
生徒への支援
の充実に
むけて



2. 「不登校等児童生徒支援センター (通称：Growth)」の概要

(2) 多様なプログラムの実施

オンラインによるホームルームやオンライン昼食会等を実施し、家にいながら、新しい出会いの場の提供を目指す。さらに、校外学習などを実施し、児童生徒が実際に自然体験活動を通じて交流することで、社会性や協調性の育成を目指す。

さいたま市に
おける
不登校等児童
生徒への支援
の充実に
むけて



多様なプログラム

朝・昼のオンラインホームルームを行います。



日帰り体験学習や宿泊学習を行います。



農業体験・陶芸体験等を行います。



人とのつながり！

2. 「不登校等児童生徒支援センター (通称：Growth)」の概要

(3) 教育相談・サポート体制の充実

電話やオンラインを活用し、保護者や本人が市内6室ある教育相談室に、必要に応じて相談できるように、教育相談・サポート体制を充実させる。

市内6室の教育相談室と連携

来所相談

電話相談

訪問相談

オンライン
個別
相談

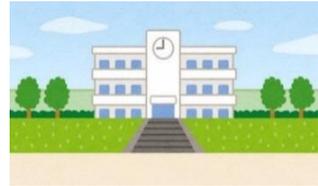
オンライン
ケース会議

さいたま市に
おける
不登校等児童
生徒への支援
の充実に
むけて



2. 「不登校等児童生徒支援センター (通称：Growth)」の概要

学校



(4) 学校や保護者との連携

「不登校児童生徒の『指導要録上の出席扱い』に係るガイドライン」の周知や不登校等に悩む保護者を対象とした「子育て学習会」を開催するなど、在籍校や保護者との連携を図っていく。

「指導要録上の出席扱い」

- ・オンライン授業に参加した児童生徒の学習状況を把握し、在籍校の担任や管理職と情報共有することにより、指導要録上の出席扱いの対象となることを目指す。

「子育て学習会」等への参加

- ・市内6室の教育相談室で開催している子育て学習会等を保護者に案内し、保護者同士のつながりを作り、保護者の孤立感や不安感の軽減を図る。



ご家庭

さいたま市に
おける
不登校等児童
生徒への支援
の充実に
むけて

